

温泉熱を利用した野菜の生産で化石燃料3割削減と 脱炭素を実現

株式会社寅福(上ノ国町)



[ハウス施設の全景]

◇【取組の概要】

- ◆ 2014年に従業員30人で株式会社寅福を設立し、作業効率を高めるため、作業を標準化、業務改善を実施
- ◆ 地域資源である温泉熱を有効活用し光熱費を削減
- ◆ 2019年にオランダ式ハウス施設を導入し、室内の温度や湿度をデータ管理し、水や肥料を自動供給するなどスマート農業を展開
- ◆ トマト栽培で年間1,000t出る植物残さを堆肥化
- ◆ LPガスを利用したボイラーの排ガスは、植物に有害なNOxやSOxが出ないボイラーを選定し、クリーンなCO2をトマトの光合成に利用



[温泉熱を利用して生産したトマト]

【組織等の概要】

- 主な事業：野菜(トマト・アスパラガス)の生産・販売
- 創立：2014年9月
- 代表者：代表取締役社長 加藤 夢人
- 従業員数：約80人(社員・パート・臨時含む)
- 主な出荷・販売先：大手食品メーカー
大手スーパー 等

【取組の成果】

- ランニングコストの大幅な削減
- 年間の化石燃料使用量を約3割削減
- 大気中にCO2をほとんど排出しないことによる環境負荷低減



[株式会社寅福の皆さん]

【今後の展望】

- ハウス内にLEDライトを導入し、トマトの収穫量を2割増やし、単収日本一を目指す
- 地域の課題(人口減少・過疎化等)解決や地域経済の活性化につなげるなど農業を地域のハブ産業とする